

〈栗の雌花〉

栗の花が咲き始めた。白くてモフモフの花が風に揺れるさまはまさに初夏の風物詩。ところが、この花の匂いが嫌いだという人が案外多い。人それぞれだから別に構わないが私は嫌いではない。さて、この栗の花、白くてゆらゆら揺れているのは全て雄花だということだが、では雌花はどこにあるのか？栗になるのは一体どこに？？？。今まで雌花の存在など気にも留めてなかったし、イガイガのついた“栗”の状態にまでなった時に初めて、「今年はいっぱい生ってるな～」と気づくにとどまっていた。好奇心がうごめき始め雌花探しが始まる。雄花のフサフサを丹念に調べるがそれらしきものは見つからない。一つ一つ観察してみてもみな同じような姿かたちをしている。「おかしいな、どこにあるんだろう」と、さらにあちこちの雄花周辺を探してみたら……。雄花の付け根付近にポツンと独立した雌花が見つかった。雄花の割に雌花は極端に少ない。が、これも確実に子孫を残すための戦略なのだろう。これからどんな風に“栗”になっていくのか、楽しみだ。

